

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-62782

(43) 公開日 平成8年(1996)3月8日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 3 C 3/00	5 1 0 B			
	G			
B 6 5 H 1/26	3 1 0 L	8712-3F		
	M	8712-3F		

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平7-126707
(22) 出願日 平成7年(1995)5月25日
(31) 優先権主張番号 2 4 9 4 1 1
(32) 優先日 1994年5月26日
(33) 優先権主張国 米国 (U S)

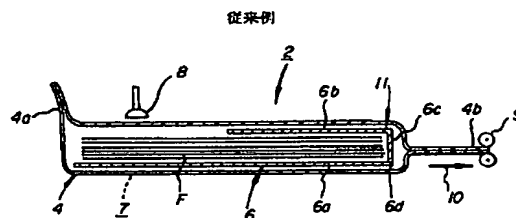
(71) 出願人 590000846
イーストマン コダック カンパニー
アメリカ合衆国, ニューヨーク14650, ロ
チェスター, ステイト ストリート343
(72) 発明者
トマス ジェームス コーシュ
アメリカ合衆国, ニューヨーク 14617,
ロチェスター, ビーコンビュー コート
35
(72) 発明者 ジェームス エドワード ブルジビーロー
ウィック
アメリカ合衆国, ニューヨーク 14620,
ロチェスター, マルベリー ストリート
151
(74) 代理人 弁理士 石田 敬 (外3名)

(54) 【発明の名称】 フィルムパッケージ用キャリア

(57) 【要約】

【目的】 キャリアが十分な剛性を有し、フィルムシート
のジャムを防止する。

【構成】 フィルムシートの積層体と、積層体を部分的
に取り囲む保護キャリア、およびキャリアおよび積層体
の回りを取り囲む可撓性の光遮蔽包装体とから成る。こ
のパッケージにおいて、キャリアは、底パネルと、底パ
ネルの側縁に隣接して一体的に且つヒンジを介して固着
される第1および第2の側パネルと、側パネルの一方の
縁部から延びており且つパネルの他方に永久的に固着さ
れていて、固着された外部角部を規定する上パネルとを
具備し、上パネルはいずれかのフィルムシートの一部お
よび上パネルの下底パネルを露出状態に残す程度の寸
法を有し、もって上パネルの他方の側パネルへの永久的
な固着により、キャリアを十分に剛体化し可撓性の包装
体を除去する間にキャリアの押しつぶしを減少するよう
にしたことを特徴とするフィルムパッケージが提供され
る。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 積層体としてのフィルムシートを分配するためのフィルムパッケージにおいて、

写真フィルムシートの積層体と、

該積層体を部分的に取り囲む保護キャリア、および該キャリアおよび前記積層体の回りを取り囲む可撓性の光遮蔽包装体とから成り、

前記キャリアは、底パネルと、該底パネルの側縁に隣接して一体的に且つヒンジを介して固着される第 1 および第 2 の側パネルと、

前記側パネルの一方の縁部から延びており且つ該側パネルの他方に永久的に固着されていて、固着された外部角部を規定する上パネルとを具備し、該上パネルはいずれかのフィルムシートの一部および該上パネルの下底パネルを露出状態に残す程度の寸法を有し、

もって上パネルの前記他方の側パネルへの永久的な固着により、前記キャリアを十分に剛体化し前記可撓性の包装体を除去する間に前記キャリアの押しつぶしを減少するようにしたことを特徴とするフィルムパッケージ。

【請求項 2】 前記上パネルは接着剤によって前記他方の側パネルに永久的に固着されることを特徴とする請求項 1 に記載のフィルムパッケージ。

【請求項 3】 請求項 2 に記載のフィルムパッケージにおいて、更に、第 3 の側パネルを具備し、該第 3 の側パネルは、前記上パネルから一体的に延びており、且つ前記他方の側パネルの一部とオーバーラップするような寸法を有し、前記接着剤は該第 3 の側パネルと前記他方の側パネルとの間に配置されることを特徴とするフィルムパッケージ。

【請求項 4】 請求項 1 に記載のフィルムパッケージにおいて、更に、第 3 の側パネルを具備し、該第 3 の側パネルは、前記上パネルから一体的に延びており、且つ前記他方の側パネルの一部とオーバーラップするような寸法を有することを特徴とするフィルムパッケージ。

【請求項 5】 前記キャリアは、2つの部分を具備し、その一方は前記底部、第 1 および第 2 の側パネル、および上パネルを具備し、他方は、該一方の底および上パネルよりもそれぞれ面積の大きな第 2 の底パネルおよび第 2 の上パネルを具備し、これらの第 2 の底パネルおよび第 2 の上パネルは側パネルに結合され、前記キャリアの他方の部分が前記一方の部分の外部角部内に嵌合可能なような寸法を有することを特徴とする請求項 1 に記載のフィルムパッケージ。

【請求項 6】 請求項 5 に記載のフィルムパッケージにおいて、更に、前記一方の部分と他方の部分との間に接着剤を配置しそれらを共に永久的に結合したことを特徴とするフィルムパッケージ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はプリンタ内の光遮蔽包装

体から自動的に取り出されたフィルムシートのフィルムパッケージに関する。更に詳しくは、本発明はこの種のパッケージにおいて使用されるキャリアの改良に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、フィルムパッケージは写真フィルムシートの積層体をプリンタに供給するのに使用されている。この種のパッケージは積層体を部分的に包囲するための荷重対抗力のある紙又は堅紙のキャリアおよびこのキャリアやストックを包囲する、例えば米国特許第 4,915,229 号に開示されているような、可撓性の光遮蔽性包装体を含む。このような包装体の一端は積層体を自動的にプリンタの拘束部へ引き出すようにし、積層体から個々のシートを引き離すためにフィルム積層体に接近可能にしている。

【0003】 例えば、229 特許に記載されているような形式の従来のフィルムパッケージにおける困難な問題は、キャリアが十分な剛性を持たずプリンタ内で包装体を除去した状態を維持するのが困難なことである。キャリアの上パネルが 1 つの外部角部の回り全体にわたって固定されておらず、上方へのヒンジが自由であるため、包装体が引き出される際、全キャリアは押しつぶし又は曲げの力を受け、キャリアをプリンタ内へ従わせる結果となってジャムの原因となっていた。しかしながら、同時に、フィルムシートが積層体から引き出される際に、キャリアのカバーの少なくとも一部を変形させるに十分なものであった。これらは、矛盾する要求であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 このため、本発明に先立って、キャリアが十分な剛性を有し、特に包装体のための出口スロットに隣接する角部において、包装体がプリンタ内へしたがる傾向に対向することの出来るフィルムパッケージを提供する必要性があった。発明者らはこのような問題を解決しかつ要求に答えるフィルムパッケージを開発した。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の課題を達成するために、本発明によれば、積層体としてのフィルムシートを分配するためのフィルムパッケージにおいて、写真フィルムシートの積層体と、該積層体を部分的に取り囲む保護キャリア、および該キャリアおよび前記積層体の回りを取り囲む可撓性の光遮蔽包装体とから成る。このパッケージにおいて、前記キャリアは、底パネルと、該底パネルの側縁に隣接して一体的に且つヒンジを介して固着される第 1 および第 2 の側パネルと、前記側パネルの一方の縁部から延びており且つ該側パネルの他方に永久的に固着されていて、固着された外部角部を規定する上パネルとを具備し、該上パネルはいずれかのフィルムシートの一部および該上パネルの下底パネルを露出状態に残す程度の寸法を有し、もって上パネルの前記他方の

側パネルへの永久的な固着により、前記キャリアを十分に剛体化し前記可撓性の包装体を除去する間に前記キャリアの押しつぶしを減少するようにしたことを特徴とするフィルムパッケージ。

【0006】

【作用】したがって本発明の有利な特徴は、積層体のためのキャリアをもったフィルムパッケージが提供され、周囲の可撓性のある柔軟な包装体の周囲に作用する除去力に対抗してジャムの可能性を減少させることが可能となる。本発明の他の特徴は以下に説明する実施例により明瞭となるであろう。

【0007】

【実施例】以下、添付図面を参照して本発明の実施例について詳細に説明する。ここで、パッケージのキャリアは、所定の寸法および形状を有し且つ接着剤を用いて組み立てられたパネルを有する。また、本発明はパネルの寸法および形状に関係なく、また接着剤を用いて組み立てられているか否かに関係なく使用できるものであるが、包装体の取り外し機構に隣接するパッケージの外部の角部分の1つは固定された角部分である。

【0008】図1に示すように、プリンタ（図せず）は従来と同様、キャリア6を全体的に覆う可撓性の包装体4およびキャリア6によって部分的に覆われた写真フィルムシートFの積層体をもったフィルムシートのパッケージ2を受け入れる。包装体の対向する2つの端部4aおよび4bは、端部4aが切断可能であって且つプリンタのローラ9によって把握された端部4bが包装体を矢印10のように自動的に除去してキャリア6およびシートFの積層体を後部に離すように配置されている。明らかなように、キャリア6の上部パネル6bはシートFの全体の積層体に渡って延びているのではなく、そこでは存在しないようになっており、吸引装置8は積層体に接触して一度にシートを離すように構成されている。

【0009】困難な点としては、上部パネル6bが側パネル6cに一体的に連結されており、この側パネルが29米特許に示されているようなキャリアである場合、キャリアの底パネル6aのどこにも固着されていない。即ち、角部11は剛性ではなく、ローラ9によって包装体4を除去することにより生成される摩擦の影響で座屈を受ける。

【0010】本発明によると、図2において、パッケージ20は、キャリア22が角部24の剛性が改良されており、ここでキャリアの傾向に対抗してプリンタの側へ押圧される。（フィルムシートの積層体、包装体、およびプリンタの構成は実質上図1のものと同様である）。即ち、上パネル28から延びている側パネル40は底パネルに永久的に固着されており、最も好ましくは底パネル30から一体的に延びている側パネル32に永久的に固着されている。ここで使用されている「永久的に固着」の用語は、例えば接着剤の使用により、キャリアパ

ネルに裂け目等の損傷を与えることなく、通常の使用の間に2つのものの分離を防止する方法を意味するものとする。勿論、これは、キャリアの材質が裂け目の強度に対して比較的弱いと仮定した場合において、キャリアパネルを努力して意図的に離すことができないことを意味するものではない。

【0011】より詳細には図3および図4に示すように、本発明のパッケージキャリアは上で部分的に指摘したように、底パネル27、このパネル27の一縁34からヒンジを介して延びている第一側パネル32（図3および図4）、縁34に隣接する底パネル27の縁36からヒンジを介して延びている第二の側パネル35、側パネル32の縁38に結合され且つそれからヒンジを介して延びいる上パネル28、および側縁38に隣接する上パネル28の側縁42からヒンジを介して延びている側パネル40からなる。外部角部24において且つ隣接して上パネル28を側パネル35に固着するために、接着剤等のような手段が図4における側パネル40の下面50と図3の側パネル35の底側面52との間に配置される。このような接着剤としては例えばホットメルト接着剤、液体接着剤、接着剤テープ等を使用することができる。「イーストボンド（Eastobond）」の商標のもとでイーストマン・ケミカルから市販されている熱活性型の接着剤を表面50の接着剤面とするのが一層好ましいものである。

【0012】或いは、パネル35および40は共にステープルにより固着される。側パネル35に永久的に固着されている側パネル40と共に、角部24は剛性があり且つ永久的であり、もってこのように形成されたキャリアボックスがプリンタによって矢印60の方向に光遮蔽包装体の引っ張られることに起因して押し潰されるのを防止する。

【0013】フィルムシートFは矢印62の方向に一度に一枚ずつ除去されるようにするのが好ましい。キャリアが1つの部片のみから成ることは必須の構成要件ではない。むしろ、図5～7に示すように、キャリアは、2つの部分間には接着剤がある場合とない場合とがあるが、共に永久的に固着されている、共に巢状に形成された2つの部分から成る。前述したものと同様の部材は、同一の番号でもって且つサフィックスAを付して示した。

【0014】このように、図5においては、キャリア22Aは第1の部分22A'（図6）および第2の部分22A''から成る。部分22A'は前述の実施例の場合と同様に、2つの隣接する側縁34Aおよび36Aを有する側パネル27A、縁34Aからヒンジを介して延びている側パネル32Aおよび側縁36Aからヒンジを介して延びているもう一方の側パネル35A、および側パネル34Aに対向する側パネル32Aの側縁38Aからヒンジを介して延びている上パネル28Aから成る。上パ

ネル28Aはまた側縁42Aからヒンジを介して延びている側パネル40Aも有し、且つそれは、前の実施例で説明した接着剤と同様の手段を使用して側パネル35Aに永久的に固着されている側パネル40Aである。

【0015】しかしながら、この実施例において底パネル27Aは、図5におけるフィルムシートの積層体Fの下面の領域の面積ほどは大きくない。したがって、図6において部分22A'は一時的に又は永久的に部分22A'の角部24A内に設けられている。このような第2の部分、図5におけるフィルムシートの積層体Fとほぼ同じ表面の面積を有する底パネル70、パネル70の側縁74からヒンジを介して延びている図6における側パネル72、および側縁74に対向するパネル72のがある縁78からヒンジを介して延びている上パネル76を有する。ここで、パネル70および76面積は、パネル27Aおよび28Aの面積よりそれぞれより大きい。

【0016】部分22A'および22Aの輪廓形状は図7に示してある。或いは、剛性の角部の上パネルは底パネルの大きい方の側縁から延びている必要はない。むしろそれは図8における短い方の側縁からヒンジを介して延びていても良い。前述したものと同様の部材は、同一の番号をもって且つサフィックスBを付して識別して示した。

【0017】このように、キャリア22Bは底パネル27Bを具備し、該底パネルは、2つの隣接する側縁34Bおよび36B有し、これらの側縁からヒンジを介してそれぞれ延びている側パネル34Bおよび35Bを伴っている。更に、キャリア22Bは上パネル28Bを有し、このパネルは前述と同様にパネル28Bの側縁42Bからヒンジを介して延びている其れ自体の側パネル40を伴っている。しかしながら、この実施例において、上パネル28Bは側パネル32Bの側縁38Bよりはむしろ、パネル35Bの対向する側縁80からヒンジを介して延びている。面50B上の接着剤は、折り畳まれた際に、側パネル40Bを側パネル32Bに永久的に固着し、前述のようにこれらの部分が所定の位置に折り畳まれた際、符号24Bの部位において剛性のある角部を形成する。

【0018】以上、添付図面を参照して本発明の実施例について詳細に説明したが、本発明は上記の実施例に限定されるものではなく、本発明の精神ないし範囲内にお

いて種々の形態、変形、修正等が可能であることに留意すべきである。例えば、前述した構成に加えて他の特徴を加えることができるが、こらもまた有用なものである。即ち、本発明は列挙した構成部分のみを必須のものとする。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1はプリンタ内に設置された従来のフィルムパッケージの部分概略図であって、パッケージを断面で示すものである。

【図2】図2は図1と類似する図であるが、本発明のパッケージを示す。

【図3】図3は可撓性の光遮蔽包装体を除去した本発明のフィルムパッケージおよび部分的に破断した積層体の角部分を示す斜視図である。

【図4】図4はパッケージ用のキャリアを折り畳み且つそれ自体を相互に固定する前の状態を示す展開した状態の平面図である。

【図5】図5は図3と同様な斜視図であるが、キャリアが2つの部分を有する他の実施例を示すものである。

【図6】図6はキャリアの2つの部分を分離した状態を示す分解斜視図である。

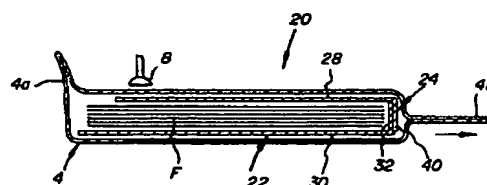
【図7】図7は図4と同様な平面図であるが、図6の実施例を示すものである。

【図8】図8は図4と同様にキャリアの平面図であるが、更に他の実施例を示すものである。

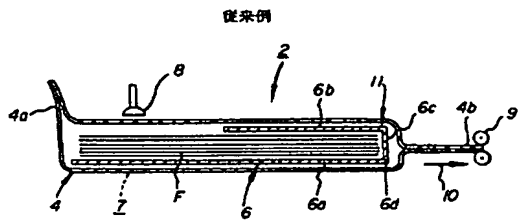
【符号の説明】

- 2…パッケージ
- 4…包装体
- 6…キャリア
- 8…吸引装置
- 20…パッケージ
- 22…キャリア
- 24…角部
- 27…底パネル
- 28…上パネル
- 30…底パネル
- 32…側パネル
- 34, 36, 38…縁部
- 40…側パネル
- 42…側縁

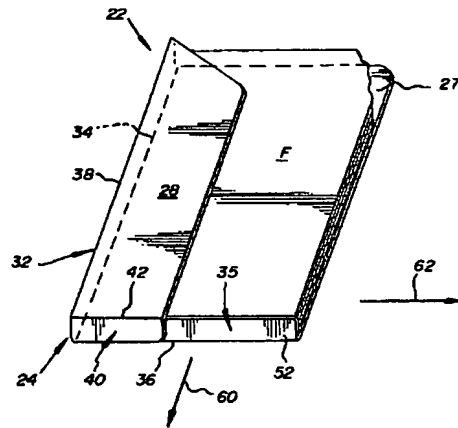
【図2】



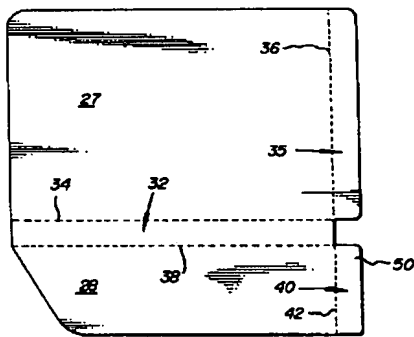
【図1】



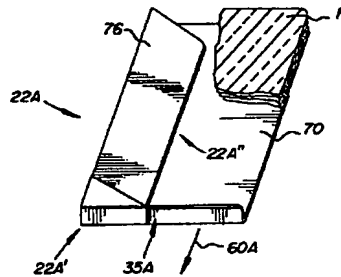
【図3】



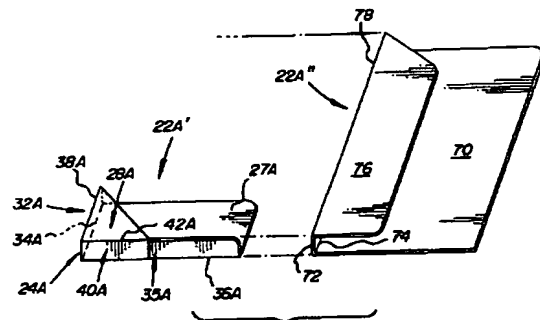
【図4】



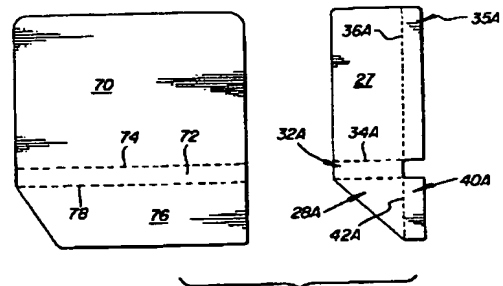
【図5】



【図6】



【図7】



【図 8】

